学校番号	１１５

平成 31 年度　情報科

教科	情報科	科目	社会と情報	単位数	２単位	年	１年
類型等	必履修						
使用教科書	最新社会と情報　新訂版　（実教出版）						
副教材等	ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシーOffice2013　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「社会と情報」の目標は、より良い情報活用能力（情報の収集、判断、創造、発信ができる能力）を身につけることです。教えられたことをただその通りにやればいいという科目ではありません。積極的に授業に取り組み、自分の「思い」を形にする様々な方法を学んでください。自分自身で判断、創造するためには、基本的な知識や技術が必要です。知識や技術は授業内で初歩から解説し、練習します。毎時間しっかりと集中して取り組んでください。

自宅でパソコンの練習をする必要はありません。ただ、「情報」は生活のあらゆる場面に存在します。ニュース、新聞、テレビＣＭ、街中のポスター、電車のつり広告等、身の回りの情報に敏感になってください。それが、自分で課題に取り組む時のヒントになります。

2　学習の到達目標

・健全で共感的なコミュニケーション能力を身につける。
・自分の「思い」をしっかりと相手に伝えるために、情報機器の基本的な操作技術と編集能力を身につける。
・情報化社会の中で、幅広い知識と技術を身につけ、問題に直面してもそれを解決できる能力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・授業中の取り組み、態度 ・自分の作品を、より良い物にしようとする意欲、工夫、態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報や情報社会に関心を持ち、主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・課題に対して「求められていることは何か」「何が必要か」「どう表現すればよいのか」を自ら考えることができる力 ・身の周りの事象を、情報とその結びつきの観点から捉える力	・課題を解決するために必要な、基礎的・基本的な技能を身につけ、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、それを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の中で、情報および情報技術の意義や役割の理解 ・情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	学習状況の観察 学習プリントの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価　等	学習状況の観察 学習プリントの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価　等	学習状況の観察 実習作品、課題作品 レポート、発表 実技テストの結果　　等	学習状況の観察 学習プリントの記述 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報社会とわたしたち	・情報社会 ・情報とメディア ・情報モラルと社会のルール ・個人情報 ・知的財産権	○	○	○	○	a: ・ディジタル化された情報を正しく取り扱おうとする意欲と態度が見られる。 ・個人情報の保護に関心を示し、管理しようとする態度がある。 ・メディアの種類や構成に関心がある。 ・情報の信憑性や信頼性に注意している。 ・メディアリテラシーに沿って情報を取り扱う態度がある。 ・知的財産権に関心を示し、知的財産権を保護しようとする態度がある。 b: ・ディジタル化された情報を正しく取り扱おうとしている。 ・情報化の光と影について正しく判断できる。 ・個人情報について考え、管理する判断力がある。 ・メディアリテラシーを身に付け、情報を取り扱う判断力と表現力がある。 c: ・情報ネットワークを使って電子メール等で正しくコミュニケーションを行う技能を有している。 ・個人情報を管理する技能がある。 ・情報モラルを踏まえて、情報技術を活用することができる。 d: ・データ、情報、知識の違いを理解できる。 ・ディジタル化された情報の正しい利用方法、コミュニケーションの特徴を理解している。 ・個人情報の概念や個人情報の保護について理解している。 ・情報の信憑性や信頼性を理解している。 ・知的財産の体系を理解している。	授業観察 学習プリント

	情報機器とディジタル表現	・情報機器 ・アナログとディジタル ・２進数と情報量 ・数値・文字の表現 ・音声の表現 ・画像の表現 ・情報のデータ量	○	○	○	○	a: ・コンピュータの仕組みに興味を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 ・情報機器の接続に興味を持っている。 b: ・情報機器のインターフェースを判断して適切に接続できる。 ・情報量を適切な単位で表現できる。 c: ・情報機器とコンピュータを正しく接続できる。 ・画像処理シフトを用いてディジタル画像を処理する技能がある。 ・2 進数、10 進数、16 進数の相互変換ができる。 d: ・コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解している。 ・数値、文字、音声、画像など、情報のディジタル化の原理を理解している。 ・情報機器の接続に関する知識がある。	授業観察 学習プリント
	Word 実習	・入力の基本 ・プロフィールカードの作成／相互評価 ・ビジネス文書の書き方 ・word 実技テスト	○	○	○	○	a: ・実習や作品制作に意欲を持って取り組んでいる。 ・自分の作品をよりよくしようと工夫している。 b: ・自分の表現したいものをどうすれば表現できるか考えることができる。 c: ・ビジネス文書が作れる。 ・word に表を挿入できる。 ・図形等を利用して地図等を描くことができる。 d: ・word の機能について知識を持ち、適切に利用できる。	実習作品 課題作品 相互評価 実技テスト
２学期	表現と伝達	・わかりやすい情報伝達	○	○	○	○	a:わかりやすく情報伝達しようとする意欲が見られる。 b:目的や対象を明確にして、表現やデザインの工夫を行っている。 c: ・画像や表を効果的に取り入れることができる。 ・図やグラフ等を利用してわかりやすく表現できる。 d: ・情報を伝達する際の注意事項について理解している。 ・企画書の作成に文字、表、図形、画像等を効果的に用いる方法を理解している。	授業観察 学習プリント

	コミュニケーションとネットワーク	・コミュニケーション ・ネットワーク ・情報セキュリティ	○	○	○	○	a: ・コミュニケーションツールに興味を持っている。 ・情報セキュリティの仕組みに関心を持ち、情報通信ネットワークを安全に活用しようとしている。 ・インターネットの仕組みやサービスに興味を持っている。 b: ・技術の進歩によるメリット・デメリットの両側面を考えることができる。 ・目的に応じてコミュニケーションの方法を選択できる。 ・目的に応じて適切にインターネットサービスを利用できる。 c: ・目的に応じて、電子メール、電子掲示板、ブログ、SNS などのコミュニケーションツールを適切に利用する技能を有している。 ・ウイルス対策など、情報セキュリティを確保するための対策を取る事ができる。 d: ・コミュニケーションの分類や形態を理解している。 ・コミュニケーションツールの知識を持っている。 ・インターネットのプロトコルおよび LAN の基本知識がある。 ・ネットワークの転送速度とデータ圧縮に関する知識がある。	授業観察 学習プリント

	Excel 実習	・データの入力 ・グラフの作成 ・いろいろな計算 ・関数の利用 ・データの検索 ・excel 実技テスト	○	○	○	○	a: ・実習や作品制作に意欲を持って取り組んでいる。 b: ・課題に応じて利用するグラフを適切に選択できる。 ・条件に合わせて適切に関数を選択して利用できる。 c: ・表計算ソフトへのデータの入力と抽出ができ、関数を利用できる。 ・表計算ソフトを利用し、条件にあうデータの検索ができる。 ・目的に応じて数値の変化や割合などをわかりやすいグラフで表現できる。 d: ・グラフの種類や機能について知識を持ち、適切に利用できる。 ・目的に応じて数値の変化や割合などをグラフで表現する知識がある。 ・条件に合わせて関数を選択して利用するための知識がある。	実習作品 課題作品 実技テスト
2学期	HTML 実習	・web ページの仕組み ・web ページの制作 ・写真の取り扱い ・相互評価	○	○	○	○	a: ・実習や作品制作に意欲を持って取り組んでいる。 ・web ページの作成に興味関心を持っている。 b: ・テーマに合ったコンテンツを制作している。 ・文字の大きさ、配置などデザインやレイアウトを工夫し、受信者に情報が伝わりやすい。 ・ハイパーリンクの構造が適切である。 ・他者の web ページの評価を適切にしている。 c: ・構成どおりのハイパーリンクができる。 ・HTML タグを使用して web ページにテキストや画像を挿入できる。 ・制作した web ページが正しく表示できる。 d: ・web ページ制作に流れを理解している。 ・リンク構造を理解している。 ・HTML タグの知識がある。	実習作品 課題作品 相互評価

3学期	情報社会と問題解決	・情報システムと人間 ・問題解決 ・情報発信	○	○	○	○	a： ・社会における情報システムに興味・関心を持っている。 ・ブレーンストーミングでは積極的にアイディアを出している。 ・問題解決のための計画や情報収集を積極的に行っている。 b: ・問題解決のための様々な方法を考え、目的に応じて適切な解決方法を選択することができる。 c: ・問題解決のための様々な技法を使うことができ、目的に応じて適切な方法を活用できる。 d: ・社会における主な情報システムの種類と内容について理解している。 ・問題解決の手順と解決するための工夫を理解している。 ・問題解決のための情報収集やアイディア収集・分類の手法を理解している。	授業観察 学習プリント
	プレゼンテーションの実習	・テーマ決定 ・ポイントの絞り方 ・powerpoint 制作 ・原稿用意 ・発表 ・相互評価	○	○	○	○	a: ・実習や作品制作に意欲を持って取り組んでいる。 b: ・プレゼンテーションのテーマが適切である。 ・ストーリーがしっかり構成されている。 ・計画的に制作を進めている。 c: ・プランニングシートに沿ったプレゼンスライドを制作している。 ・画像、音声、アニメーションなど多彩な表現メディアを利用している。 d: ・プレゼンテーションの流れを理解している。 ・プレゼンテーション制作の各段階のポイントを理解している。 ・画像、音声、動画など多彩な表現メディアを効果的に利用する方法を理解している	実習作品 課題作品 相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。